

**Q** どんな人が受けられるの？

**A** 現在、どこかの医療機関にかかっている患者さん・ご家族の方です。

**Q** セカンドオピニオンのメリットは？

**A** セカンドオピニオンで、別の医師から診断や治療方針の説明を受けることで病気や治療に対する理解が深まる場合があります。そのことで、より納得して治療に臨むことができ、結果的に担当医との信頼関係を築くことに繋がります。また、セカンドオピニオンで別の治療法が提案された場合には、選択の幅が広がることにもなります。

**Q** セカンドオピニオンの決まり事は？

**A** ※セカンドオピニオン外来では診察や検査、治療は行いません。  
※医療訴訟や医療苦情、医療給付などにかかわる相談には応じられません。  
※転医・転院をご希望の場合はセカンドオピニオンの対象になりません。  
※完全予約制で、事前の申し込みが必要です。  
※相談にかかわる費用は、患者さん・ご家族共に保険適応外のため自費扱いになります。  
(病院によって異なるため、詳細は各医療機関にお問い合わせください)

**Q** セカンドオピニオンって？

**A** 「担当医をかえること」ではありません。現在の担当医以外の医師の意見を聞くことです。セカンドオピニオンを受けたら、現在の病院に戻って、担当医と今後のことを相談することになります。



**Q** セカンドオピニオンを申し出ることによって担当医の心証を悪くしませんか？

**A** 心配ありません。当院では、セカンドオピニオンを推奨しています。セカンドオピニオンを申し出ることによって、患者さん・ご家族が不利益を被ることはありませんので、遠慮なく申し出てください。直接担当医・担当看護師に申し出にくい場合は、地域医療連携室・がん相談支援センターにご相談ください。

セカンドオピニオンを受ける時の流れ



セカンドオピニオンは、患者さん・ご家族の方が、現在診療を受けている担当医以外の医師の意見「第2の意見」を聞くことです。

現在の病院で

- まず、担当医の診断と治療方針をよく聞きましょう。
- 分からないことがあれば、まずは担当医からよく話を聞きましょう。

現在の病院で

- セカンドオピニオンで聞きたいことを整理し、担当医もしくは地域医療連携室・がん相談支援センターにセカンドオピニオンを申し出ましょう。

現在の病院で

- セカンドオピニオンの手続き。
- 外来・病棟・地域医療連携室・がん相談支援センターがお手伝いします。(医療機関によっては、患者さん・ご家族が直接申し込む必要がある場合があります)

セカンドオピニオン先で

- 聞きたいことを聞きましょう。(診断や治療方針・治療方法など)

現在の病院で

- セカンドオピニオンで聞いた意見も参考にして、担当医と今後のことを相談しましょう。